

第2回 札幌駅交通ターミナル検討会

議事概要

1. 日時 令和2年5月8日（金）
2. 場所 書面開催
3. 出席者 別紙のとおり
4. 書面開催の結果
 - ・ 前回審議のふりかえりとして整備方針と今後の検討課題とスケジュールを確認
 - ・ 「札幌駅周辺の現状・将来動向と課題」「必要な機能の具体化」について、事務局より説明し、引き続き、事業計画の策定に向けて検討を進めることを確認。

【 委員からの主な意見等 】

- (1) 札幌駅周辺の現状・将来動向と課題
 - ・ 国際的な都市間競争力強化、直接的な交通利用者の利便性向上のみならず、都市全体や全道への波及効果を見据えて検討することが重要。
 - ・ 新幹線延伸、オリパラ招致、周辺の再開発を見据え、札幌駅周辺全体として各交通モードの結節性を検討していくことが重要。
 - ・ 札幌駅周辺の再開発が進む中で、一般車両による混雑に対応するため、面的なマネジメントを検討することが重要。
- (2) 必要な機能の具体化
 - ・ バスターミナルへの流出入について、創成川通とバスターミナルの連携が重要で今後検討を進めるべき。
 - ・ ダイヤが乱れた場合の周辺道路への影響や観光バス・貸切バスについても今後検討を進めるべき。
 - ・ オリパラ招致を見据え、円滑な歩行者動線やシームレスな交通体系の実現、バリアフリー、ユニバーサルデザインという観点で高い目標を掲げて今後検討を進めるべき。
 - ・ 将来の自動運転技術や情報インフラとの連動による情報提供なども視野に入れた検討が必要。
 - ・ 札幌駅周辺の総合的なサイン計画が重要で、全体で統一感のある分かりやすい案内となるよう、ICTの活用なども含めて関係機関で今後検討

を進めるべき。

- ・ 避難空間としての活用やバス輸送といった災害時の総合的な運用計画を検討すべき。
- ・ 創成川のみどりや水に配慮するとともに、東西方向の一体感の醸成、歩行者をはじめとした多様な移動モードに対し、創成川通地上部や上空（デッキレベル）の利用に向けた検討が必要。

(3) その他(今後の進め方、全般について等)

- ・ バスターミナルの施設計画、事業期間や施工計画について、社会情勢の変化を踏まえ再開発や新幹線駅などの関係機関と調整しながら進めていくことが重要。
- ・ 利用者目線での景観、北海道を実感できる空間という点においても配慮し検討をしていくことが重要。
- ・ ディスタンスという視点も重要。
- ・ 新たなモビリティについて、他都市事例を参考に将来のイメージを関係者間で共有することや受容空間を確保しておくことが重要。
- ・ 観光案内や災害時の情報提供機能など総合的なインフォメーション機能について、関係機関と連携し検討していくことが重要。
- ・ ターミナルの規模・待合空間の機能について、再開発と連携して進めていくことが重要。

以上